

2019年10月24日

コイズミ照明が「京都 神楽岡 蓮月荘」で IES Award of Distinction（北米照明学会賞 最優秀賞）を受賞

コイズミ照明株式会社

本社：大阪市中央区備後町3-3-7

社長：梅田照幸、資本金：450百万円

コイズミ照明株式会社(以下、コイズミ照明)は、北米照明学会(IES、本拠地ニューヨーク)主催の「2019 IES Illumination Awards(北米照明学会賞)」で、照明設計に参画した「京都 神楽岡 蓮月荘」において、「Award of Distinction(最優秀賞)」を株式会社日建設計との連名で受賞しました。

こちらの「京都 神楽岡 蓮月荘」は、国内の一般社団法人照明学会が主催する2019年照明デザイン賞においても「優秀賞」を、株式会社日建設計との連名で受賞しています。



京都 神楽岡 蓮月荘

撮影：鈴木 文人

IES(Illuminating Engineering Society)は照明分野を広く網羅した世界中からのメンバーによって構成されている世界規模の権威ある照明学会です。同賞は、照明分野を対象とした国際的な照明デザイン賞で、その専門性・創意工夫・オリジナリティを評価の対象としており、世界各国からの応募作品の中から選ばれるものです。「Award of Distinction(最優秀賞)」はその中でも並外れた功績を称える最高レベルの照明デザインに授与されるものです。

【 京都 神楽岡 蓮月荘 照明デザイン概要 】

「京都 神楽岡 蓮月荘」は京都らしい伝統と格式を保持し、かつ企業価値を高める最高級のゲストハウス兼保養施設を目指して建てられました。照明は「光で空間を広げる」をコンセプトに計画。客室内に導光板照明による『光の欄間』を提案。古来より自然光を取り入れ空間を仕切るという役割を果たしてきた欄間の機能を、人工光の「面」によるやわらかな仕切りとして空間に落とし込み、コンセプトを実現しました。また、オーナー様が想いを込めて名付けた建物名にちなみ、月の光に照らされた「蓮の池」を和紙の重なり

で表現した行燈も制作。導光板照明と行燈は、水族館の水槽パネルをつくるアクリル技術を駆使しています。伝統素材と最新技術が融合した照明器具は、日本建築になじむ仕上がりとなりました。

施設名 : 京都 神楽岡 蓮月荘

所在地 : 京都市左京区

事業主 : トラスコ中山株式会社

設計監理 : 株式会社日建設計

施工 : 株式会社 竹中工務店

照明・特注照明設計協力 : コイズミ照明(株) LCR東京 熱田 友加里、特機商品部 製作室 松本 慎二郎、
克茲米商貿(上海)有限公司(コイズミ上海) 島 裕二

以上

◆本件に関するお問合せ先◆

コイズミ照明株式会社 経営統括部 経営企画部 広報室

TEL:06-6266-8141(直通)